



# 学校図書館だより



## 11月号



令和3年11月  
柏市立 中学校  
柏市学校図書館指導員

通学路や校庭の木々の葉が色づき、風が肌寒く感じる季節になりました。五感で秋を探して、言葉にしてみるのも面白いかもしれません。学校図書館では、たくさんの詩人たちの言葉も皆さんを待っています。普段あまり詩集を読まない人も、この秋は1冊手に取って詩の世界をのぞいてみてください。

## 「市内中学生ビブリオバトル」開催

10月27日（水）、「市内中学生ビブリオバトル（知的書評合戦）」の決勝大会がオンラインで行われました。

令和3年度

チャンプ本

『熱帯』

森見登美彦 著 文藝春秋〈913/モリ〉

準チャンプ本

『100の思考実験 あなたはどこまで考えられるか』

ジュリアン・バジーニ 著 向井和美 訳 紀伊國屋書店〈104/バジ〉



## 今月のおすすめ

テーマは「詩」 ポケットに詩集1冊しのぼせて…

### 『一編の詩があなたを強く 抱きしめる時がある』

水内喜久雄 編 PHPエディターズ・グループ  
〈911/ミス〉

ピンク色の表紙が目を引く詩集です。糸井重里、谷川俊太郎、ビートたけしなど様々な人々による、読む人を励まし、育ててくれる詩の数々が収録されています。

自分は絶対に騙されないぞと思っているあなたは、「騙されるな」（ビートたけし）を読んでみてください。学校で頑張って笑おうとしているあなたへは「そのスープの外へ」

### 11月生まれの詩人

はぎわら さくたろう

萩原 朔太郎

(1886-1942)

萩原朔太郎は、1886年11月1日群馬県生まれの詩人です。中学生の頃から創作を始めました。30歳のとき、初めての詩集『月に吠える』を刊行し、詩人たちに大きな影響を与えました。

2年生の国語の教科書でも紹介されています。

出典『ポプラディアプラス 人物事典3』ポプラ社

### 『ポケット詩集』

田中和雄 編 童話屋〈911/タナ〉

学校に行きたくない教師、求婚の広告を出す男、便所掃除をする男など、様々な人物が登場します。それぞれの詩の風景を想像しながら読んでみましょう。まえがきには、「気に入った詩にであったらなんども読み返し、時には声にだして読んでごらん下さい」とあります。とびきりの詩の中から、お気に入りを見つけてみましょう。2年生の国語の教科書に出てくる与謝野晶子の作品「君死にたもうことなかれ」も収録されています。

### 『萩原朔太郎詩集 悲しい月夜』 美しい日本の詩歌14

萩原朔太郎 著 河村哲朗 画 岩崎書店  
〈911/ハギ〉

初めて朔太郎の詩を読む人にも、手に取りやすく読みやすいという視点で作品を選んだ選詩集です。目次を開くと「おれは美しい風景なんかみたくもない」「その手は菓子である」など、読んでみたくなるような詩が並んでいます。巻頭には直筆のノートや生家、家族らとの写真、巻末には略年譜が掲載されています。

\*ライブラリーサーチより一部引用しています。